

事 業 委 員 会

平成 2 3 年 6 月 1 4 日 (火)

事業委員会

日 時 平成23年6月14日（火）午前10時00分開会—午前10時12分閉会

場 所 役場3階 第2委員会室

出席委員 鍛冶委員長、小川副委員長、出口、竹内、竹原、豊国、和田
川端議長

欠席委員 なし

傍聴議員 奥野、中原、反保、辻下

出席理事者 田代町長、末原都市整備部長、白井財政改革部長、南水道事業理事兼水道課長、
笠間総括理事、梶本都市整備部副理事兼土木下水道課長、
木下都市整備部副理事兼建築課長（PFI総括）、家永都市整備部副理事兼建築課長、
福吉都市整備部土木下水道課参事、天野都市整備部産業振興課長、
吉田都市整備部副理事兼二国推進課長、前都市整備部二国推進課長代理、
四至本財政改革部副理事兼行革推進課長、西まちづくり戦略室企業誘致担当課長、
大野都市整備部水道課長代理、鶴久森都市整備部土木下水道課長代理、
多賀井都市整備部土木下水道課長代理、河合都市整備部建築課長代理兼住宅管理係長、
中谷都市整備部土木下水道課主幹、奥都市整備部建築課主幹兼建築係長、
澤都市整備部産業振興課主幹兼産業振興係長、中口総務企画部長

欠席理事者 なし

案 件

(1) 付託案件について

(午前10時00分 開会)

鍛冶委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまから事業委員会を開会します。

本日の出席委員は7名全員出席です。理事者側も全員出席です。

定足数に達しておりますので、本委員会は成立いたしました。

これより事業委員会を開催いたします。

まず、携帯電話は、いつものようにマナーモードまたは電源を切るようお願いをしておきます。

理事者側から報告案件がありますので、委員会終了後、引き続き協議会を開催します。よろしくお願ひします。

6月9日の本会議において、本委員会に付託を受けました議案1件の審査を行います。

それでは、これより議事に入ります。

なお、発言者については、必ずマイクのスイッチを入れてから発言をお願いいたします。

理事者の発言は所属部署と氏名を言ってからお願いいたします。

では、議案第38号「平成23年度岬町一般会計補正予算（第1次）の件」のうち、本委員会に付託された案件について議題とします。

本件について、担当課から説明させます。

天野都市整備部産業振興課長 それでは、平成23年度岬町一般会計補正予算（第1次）について、ご説明申し上げます。

まず、歳入についてでございます。資料の1ページをご参照ください。

12、分担金及び負担金、2、分担金、1、農林水産業費分担金、農業費分担金65万円を増額補正するものでございます。

場所については、3ページをご参照ください。

内容としましては、弥勒農道の一部であります、黒の実線部分を改修するに当たり、工事費の2分の1を深日南池土地改良区に負担していただくものです。

工事の詳細については、歳出でご説明させていただきます。

続きまして、15府支出金、2、府補助金、8、農林水産業費府補助金、農業費補助金5万3,000円を増額補正するものです。

内容としましては、平成22年度から戸別所得補償制度のモデル事業対策が実施されました。23年度からは、本格実施されることに伴いまして、事務費を増額補正するもので

す。詳細につきましては、歳出でご説明させていただきます。

続きまして、歳出の説明をさせていただきます。2ページをご参照ください。

6、農林水産業費、1、農業費、2、農業総務費、戸別所得補償推進事業で5万3,000円を増額補正するものです。

内容としましては、戸別補償制度の本格実施に伴いまして、システムのバージョンアップを図るため、ソフトを購入するものでございます。

続きまして、5、農業施設改良事業費、農業施設改良事業で130万円を増額補正するものです。

場所につきましては、先ほどの3ページをご参照ください。

内容としましては、黒の実線でお示した場所、約20メートルの路肩が海側に傾いておりまして、それを真っすぐに補修し、また路面にでこぼこがございますので、これを真っすぐに改修するものでございます。

梶本都市整備部副理事兼土木下水道課長 続きまして、8、土木費、3、河川費、河川水路改修事業費として、136万6,000円を増額補正するものです。

4ページの業務箇所とあわせてご参照願います。

内容につきましては、3月の事業委員会協議会でご報告しております、男鹿谷水路に係る訴訟において、裁判官から意見書が出され、和解案の条件を確定するために、用地買収の面積と単価を確定する必要がありますので、設計業務委託料49万8,000円、境界確定業務委託料57万6,000円、土地鑑定業務委託料としまして、29万2,000円を増額補正するものです。

以上、当委員会付託分としまして、271万9,000円を補正計上するものでございます。

鍛冶委員長 本件について、質疑ございませんか。

竹内委員 今、言われた土木費の男鹿谷の件ですけれども、以前に予算が7,000万円でしたかね、計上していると思うのですが、この今言う水路の用地買収費は、いくらぐらいになるのか。それでまた、前のときに、その測量費云々は含めてあったのかなかったのか、お聞かせください。

梶本都市整備部副理事兼土木下水道課長 以前のときに、測量設計、用地買収等含めまして、7,100万円ということで、事業費を示させていただいていたと思います。

今回、用地買収費としましては、鑑定をして金額が確定するのですが、今のところ約4

00万円、平米当たり8,000円程度ということを知っておりまして、面積的には約500平米程度になろうということで、今後、予算計上させていただくというふうに考えております。

竹内委員 そうしたら、前の7,100万円というのは、水路の工事費、全体の工事費ということで認識したらよろしいですか。

梶本都市整備部副理事兼土木下水道課長 前回の7,100万円の部分につきましては、水路を移設するという工事をごさいますて、既設の里道・水路の中に、今の水路を移設するという設計でございますので、かなり高いものになっております。それが測量設計を含んで、用地買収はありませんが、7,100万円ということで、予算計上させていただいております。

今回は、今の現況の水路を改修するという形で事業を進めていくというものでございます。

竹内委員 前の7,100万円を使用するということには、議会で言うと話が出ていましたので、その辺のところは何かあるのですか。いついつこういう形でやりたいという報告というのとはしていただけるのかどうか。

梶本都市整備部副理事兼土木下水道課長 今の方向ですと、裁判官のほうから和解案ということで、今、口頭弁論は進んでおりますので、その案が固まってきましたら、議会のほうに承認をいただくというふうに、今後、予定をしております。

続きまして、5,000万円を超えますと、議会の承認事項になりますけれども、今回の工事、用地買収、工事費を合わせましても、約3,000万円前後というふうに見込んでおりますので、議会案件にはならないと思っております。

鍛冶委員長 よろしいですね。

末原都市整備部長 ちょっと補足させていただいてよろしいでしょうか。

補正予算で計上させていただいておりますので、工事の予算も補正予算の対応になります。

竹内委員 もう1つ。

そうしたら、これは繰越明許のほうに入っていないわけですか。補正で出てくるということでもいいんですね。

前の7,000万円というのは……。

田代町長 ちょっと私のほうから。

当初7,100万円というのは、覚書を交わしている手前上、やっぱり議会上程しと

かないといけないということで、7, 100万円上げさせていただいた。

しかしその後、お互いに訴訟の段階で、和解という話になって、一応もう当時の7, 100万円、いわばつけかえについては、一応なしにして、現道の現水路を改修して、その部分を買収したらどうかという折衷案が出ておりますので、今その方向で進むためには、先ほどの設計、境界の確定のための委託料、そして土地鑑定、これが必要ということで、今回補正を上げさせてもらっています。

ですから、今までの7, 100万円の中には入っているのですが、それは全くもう没という形で考えていただきたい。

竹内委員 はい、わかりました。認識しました。ありがとうございます。

鍛冶委員長 よろしいですか。

竹内委員 はい。

鍛冶委員長 ほかに質疑ありますか。

和田委員 この弥勒農道の改修ですが、説明を聞いて、20m崩れているっていうのは、わかったのですが、前に現場の写真か何か出しているのかな。ただ、ここへ、地図の上へ黒く塗っただけで、ここやと……。

天野都市整備部産業振興課長 補正予算の予算要求時に、写真等財政課のほうへ提出しております。

和田委員 はい、ありがとうございます。

鍛冶委員長 よろしいですか。

ほかに質問ありませんか。

ちょっとわたしのほうから念押しですが、ですから、7, 100万円というのが、水路の改修で約2, 000万円、それと今ここであります設計委託料から土地鑑定合わせて、136万6, 000円プラスの買い上げが400万円ぐらい。ということは、2, 500万円から2, 600万円でいけるということですか。

田代町長 3, 000万円弱。

鍛冶委員長 3, 000万円弱ね。はい、わかりました。

そうしたら、ほか、質問よろしいですか。

(「なし」の声あり)

鍛冶委員長 それでは、これで終わります。

続いて、討論を行います。討論はございませんか。

(「なし」の声あり)

鍛冶委員長 討論なしということです。

ないようですので、討論を終わります。

続いて、採決を行います。

議案第38号「平成23年度岬町一般会計補正予算（第1次）の件」のうち、本委員会に付託された案件について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

鍛冶委員長 満場一致です。

よって、議案第38号のうち、本委員会に付託された案件は、可決されました。

以上で、本委員会に付託を受けました議案1件については、すべて議了いたしました。

本日の審議経過並びに結果については、次の本会議において委員長報告を行いますので、委員の皆様方のご協力をお願いします。

これで事業委員会を閉会いたします。

(午前10時12分 閉会)

以上の記録が本町議会第2回定例会付託委員会の会議のてんまつに相違ないことを記するため、ここに署名する。

平成23年6月14日

岬町議会

委員長 鍛治末雄